

学 校 を  
支 え る  
地 域 の  
力 chikara

「魅力ある学校づくり地域協議会」の  
全校設置 宇都宮版「コミュニティスクール」  
栃木県宇都宮市

宇都宮市は、栃木県の政治・経済・文化の中心地、北関東の唯一の中核市として発展し、市町村合併等を受け、平成一九年三月には、人口約五万人、市内に小学校六八校、中学校二五

校を有する市となりました。本市は、商業地区や工業地区、山間部、ベッドタウンなど多様な地域特性をもっています。その中で、学校は、企業の専門性や自然の豊かさなど各地

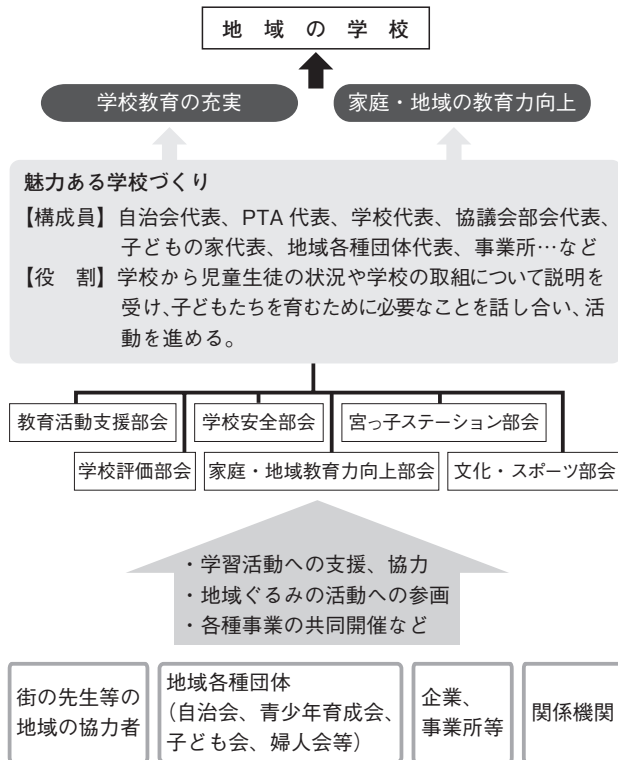
域の教育資源を生かした教育活動を展開しています。また、その一方で、学校が直面する課題も、その地域によってさまざまです。

八年度から三か年で全小・中学校に「魅力ある学校づくり地域協議会」（以下「地域協議会」）を設置することとしています。

みんなが話し合う  
体制をつくる

4つの目的と活動例

- 活力ある学校づくりへの参画  
学校の取組に関する意見交換、学校評価
- 地域の教育力を生かした学校教育の充実  
学校支援に協力する地域人材のコーディネート
- 地域ぐるみの児童生徒健全育成や安全確保の推進  
地域ぐるみのあいさつ運動や安全パトロール
- 学校施設を活用した家庭・地域の教育力向上  
親学講座・親子料理教室の実施、休日の図書館開放



そこで、本市では、地域の特性にあわせて、学校・家庭・地域が協力し合いながら、児童生徒を育む方法として「地域の学校づくり」を進めています。これは、地域が一体となって、学校教育の充実に取り組み、「子どもの学校」「大人の学校」「地域の学校」を実現する、いわば、学校が地域教育コミュニティの核にもなるうというものです。具体的には、この推進組織として、平成一

- 「地域協議会」は、学校、PTA、地域諸団体、企業の代表等で構成される組織で、みんなが話し合い、行動する体制づくりに向け、おもに
- ① 活力ある学校づくりへの参画
  - ② 地域の教育力を生かした学校教育の充実
  - ③ 地域ぐるみの児童生徒健全育成や安全確保の推進
  - ④ 学校施設を活用した家庭・地域の教育力向上
- の四点に関する話し合いを行うとともに、これに関連した活動の企画や運営を行っています。

「地域協議会」は、「学校評議員制度」や地域ぐるみで児童生徒の健全育成を図る「地域児童生徒育成協議会」などの既存組織の機能を融合するとともに、宇都宮市で取り組んでいた、地域ボランティア「街の先生」などの成果も活用しながら取組を進めているものです。宇都宮市ではこうした地域協議会ごとに、その活動経費として年間一〇万円を支援しています。

今後は、いわゆる「学校運営協議会」「学校支援地域本部」の役割も果たしながら、学校と家庭・地域の双方のベクトルをもった宇都宮版コミュニティスクールを作り上げていきたいと考えています。

## 現在までの取組

本市では、平成一八年度から三年、次のように取り組んできました。

・事前準備より一年目へ一校で設立  
本市教育委員会が設立までの手引きを作成し、自治会やPTA、企業団体などを直接訪問して、協力を依頼しました。

地域の理解が得られた学校から順次、設立準備会の発足、地域協議会の設置へと進み始めましたが、特定の個人に小・中学校から委員の依頼が集中するなど委員選定に苦労したこともあ

りました。

・二年目へ三九校で設立

地域協議会への支援として、本市教育委員会が設定するテーマに基づく取組への交付金制度を新設しました。（平成一九・二〇年度のテーマは「親学」）

・三年目へ全校で設立

「うつのみや学校マネジメントシステム」に基づき、すべての地域協議会で学校関係者評価を行います。

## 西原小学校 サポーター会議の実践

市内中心部の西原小学校は、年々子どもの数が減り、教室内外の隅々まで環境整備を行うには相当の努力が必要な状態でした。また、地域においては、近所に子育ての悩みを相談し合う相手がなくなったり、子どもと関わる機会が減ってきたことを残念に思う住民が多くいました。

そこで、西原小学校サポーター会議では、地域の協力によりこれらの課題を解決しようと考え、児童数減少により生じた余裕教室を「地域活動室」として利用し、地域の方が学校に集まれる環境をつくりました。

そして、学校がこの方々の協力を得て、書道や水泳等専門性を生かしたサポーターや清掃指導、読み聞かせなどの

活動が行われています。

また、保護者を対象とした講演会、保護者同士のコミュニケーションを深め保護者のもつ悩みを話し合う活動を取り入れ、家庭の教育力向上にも取り組み始めました。

また、このような地域協議会の取組をさらに充実したものとするため、今年四月から、学校と家庭・地域を結ぶコーディネーターが地域活動室で定期的に活動しています。

## おわりに

今年度、すべての小・中学校に地域

協議会が設置されますが、これからが本当の「地域の学校づくり」の始まりです。

学校はもとより、家庭や地域社会全体が魅力あるものになり、何よりも子どもたちが生き生きとする「地域の学校」を目指すためには、学校・家庭・地域をむすぶ地域協議会のコーディネーター機能が重要です。

今後、「学校支援地域本部」の取組を積極的に取り入れながら、宇都宮市ならではの「地域の学校」を目指していきたいと思っています。

（学校教育課指導主事 栗原文晴  
生涯学習課主任 渡辺美紀）



地域の方からの本格的な書写の授業（西原小学校サポーター会議）



学校、PTA、地域の方が子どもの教育について話し合う地区懇談会（星が丘中学校地域協議会）